

デマンド交通改善効果は



おがさわら きよし
岡沢 清
議員

質問 本年4月からデマンドタクシー運行の改善策が実施されてきたが、約8カ月経過して、どのような改善効果があったのか。

答弁（保健福祉部長） 4月の1日の平均利用者は11・4人だったが、10月の1日の平均利用者は14人と伸びている。平均稼働率は90%。運行車2台のうち、定員9人乗りワゴン車を導入したことにより、多くの乗車が可能になり、車椅子（折り畳み）も後ろに乗せることができ、利便性が増している。また、1時間ごとの運行便へ変更したことにより、当日予約が可能に

なり、利用しやすくなった。

質問 予約オペレーターの適正配置という改善については。

答弁（保健福祉部長） 4月の時点で委託業者にオペレーターに適した人員配置と社員教育を徹底させるよう指導しているので、苦情などはありません。

質問 複数の事業者による運行体制への検討は。今後の地域公共交通の構想は。



答弁（保健福祉部長） 本村に本社または営業所のある事業者はデマンド交通事業への参入の意思について確認したところ、一般乗合旅客自動車運送事業の経営許可等の諸事情により、現時点では参入の意思がないという回答を得ている。今後とも毎年意思の確認をしていきたい。

答弁（村長） 本村が参加している一部事務組合であれば、圏域の中で地域公共交通を維持していく発想はできると考える。その圏域の中の民間事業者の同意が得られれば、それができるのが望ましい。関係する自治体が多くなるほど難しいが、稲敷広域の中で自由にデマンド（相互乗り入れ）ができるようになれば利便性がかかり上がると考える。

公民館閲覧室の利用 村民以外でも許可を

質問 中央公民館の閲覧室、空席があれば、村民以外にも学生証の提示等で利用を認めてほしい。

答弁（教育長） 現在の美浦村中央公民館管理規則では、利用できるのは、美浦村に居住・在学・在勤及び県南地区に居住する者となっている。ただ、規則の中には、公民館長が特に認めた場合には許可すると載っているため、今後は柔軟に対応するということを考えている。



個人の学習等に使用される閲覧室